

事務事業名		雇用対策事業			会計	一般会計			
H27担当課等名		産業振興課		H27係等名	雇用人材誘導係		H26係等名	雇用人材誘導係	
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり					
		施策	11	支え、育む産業基盤づくり					
目的	対象(誰・何を)	○求職者 ○高校生の内就職希望者			対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	○就業が実現する				高校生新規求人数:人		512	
	向上させたい上位施策の成果指標	①新規就業者数(新卒のみ)				高校生の内就職希望者数:人		389	
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	ジョブカフェいいだでの就業支援が実現した人:人			20	25	20	20	H26より対象を変更
	成果指標	ハローワーク管内の新規高卒者の就職率:%			100	99	100	100	
定性目標									
事業概要	<p>1 住宅支援給付事業 離職者で就労能力、就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給することにより、住宅及び就労機会の確保 に向けた支援を行う。平成21年10月から実施。</p> <p>2 学生のUIターン就職促進を図るため、飯田職業安定協会へ学生等UIターン支援事業を委託して事業実施する。</p> <p>3 ジョブカフェいいだ 39歳以下の若年者や求職者を対象とした就労支援を行う。りんご庁舎に専門の相談員を配置し、総合的な相談に対応する。ジョブカフェいいだで相談を行い、就労を希望する相談者は、引き続きハローワークへ紹介する。希望者する人には適職診断テストを実施する。</p> <p>4 一般対象と学生対象にそれぞれ外部講師による就職支援セミナーを随時開催する。</p> <p>5 飯田職業安定協会と連携して、高校や地元短大、専門学校の就職状況の把握とジョブカフェいいだによる就職支援セミナーや個別相談等就職支援の実施。</p>								
	26年度事業内容	<p>1 住宅支援給付事業 離職者で就労能力、就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、住宅手当を支給する。平成21年10月から実施。</p> <p>2 学生のUIターン就職促進を図るため、飯田職業安定協会へ学生等UIターン就職支援事業を委託して事業実施する。</p> <p>3 ジョブカフェいいだ 39歳以下の若年者や求職者を対象とした就労支援を行う。りんご庁舎に専門の相談員を配置し、総合的な相談に対応する。</p> <p>4 一般対象と学生対象にそれぞれ外部講師による就職支援セミナーを随時開催する。</p>			<p>名称</p> <p>1 住宅支援支給者 2(1) 就職ガイダンス参加者数     (2) 就職ガイダンス参加企業数 3 ジョブカフェいいだ相談者数 4 セミナー開催回数</p>		<p>活動指標</p> <p>6人 163人 55社 82人 7回</p>		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		8,022	7,494	5,984	605	(県)住宅支援給付事業補助金10/10 (そ)地域雇用創出推進基金 H26→H27繰越し明許 1,000千円			
国庫支出金									
県支出金		4,657	3,079	3,079					
起債									
その他				2,900	605				
一般財源		3,365	4,415	5					
人件費計(千円)②		4,670		0					
正規職員所要時間		1,300							
臨時職員所要時間		20							
総事業費①+②		12,692	7,494	5,984	605				
事業内容・目標達成状況の振り返り	ハローワーク飯田、飯田職業安定協会等との連携により確実に事業実施ができた。なお、ハローワーク飯田りんご庁舎内に設置していたジョブカフェいいだは、平成27年4月よりハローワーク飯田りんご庁舎がマザーズコーナーへの変更に伴い、産業振興課内へ場所を移し、相談を行うこととなる。住宅支援給付事業については、生活困窮者自立支援法が施行されたことにより平成27年度からは住宅支援給付金事業として福祉課に移管される。								
改革改善の考え方	①問題点	雇用のミスマッチがあることを課題としてとらえ、対応策も含め事業をすすめられたい。パーソナルサポートセンターなどの関係機関とも連携して取り組まれたい。							
	②改革提案	雇用のミスマッチの対応として高校生への働きかけなどに積極的に取り組んでいきたい。ジョブカフェいいだでは個別対応において必要に応じてパーソナルサポートセンターや勤労青少年ホーム等の取組と連携して事業実施に取り組む予定。							